

ふるさと自慢づくりコンテスト(お菓子部門)の作品

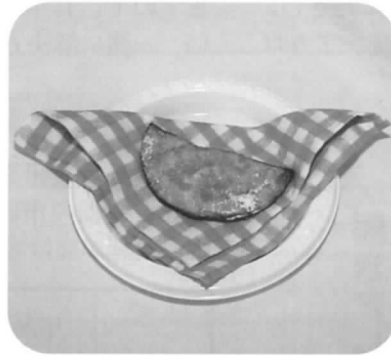
都留市では、産業及び地域の活性化を図るため、産業のまちづくり『メイク・アクションつる』を掲げその一事業として産業まつりに『ふるさと自慢づくり』と題して、主に地元で生産された農林産物などを利用したお菓子づくりコンテストを実施しました。多数出品されたお菓子は、どれも甲乙つけがたい見事なお菓子でした。今回は都留市川棚の村上叶江さんの作品で野菜嫌いなお子さまにも美味しくいただけるかぼちゃを使ったお菓子を紹介しします。皆さんもご家庭でお試しく下さい。

1個分

エネルギー	28キロカロリー
タンパク質	0.9グラム
脂肪	0.3グラム
カルシウム	4ミリグラム

《20個分材料》

かぼちゃ	400グラム
スキムミルク	大さじ3
きなこ	大さじ2
干しぶどう	少々
餃子の皮	20枚
サラダ油	適宜
シュガーパウダー	適宜



ドリームパンプキン

《作り方》

- ① かぼちゃはレンジで加熱するか蒸してやわらかくし、すりつぶす、または裏ごしする。
- ② つぶしたかぼちゃに、スキムミルク、きなこ、干しぶどう(水に戻してやわらかくしておく)をよく混ぜる。
- ③ 餃子の皮で②のかぼちゃを包む。
- ④ サラダ油を熱し、皮がきつね色になるまで揚げる。
- ⑤ 仕上げにシュガーパウダーをかける。

ネイチャーセンター ガイド(61)

連絡・問合せ先 ☎(45)6222

宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター
開館時間：午前9時から午後4時まで
休館日：月曜日、祝祭日の翌日

澄んだ雫、静かにしみこませる雪の下・・・春をまつ、フキノトウやツクシたちが雪の下・・・
肌寒い、木肌にしみる三つの山の吹き降ろし・・・
舞い降りる雪、いずれゆくゆく空の彼方へ・・・ 木の芽笑う、春の陽気につつまれて・・・

●クマ棚にみる森の移り変わり

本州最大級の陸上性ほ乳類、「ツキノワグマ」この野生動物がここ都留市にもすんでいる。ぱったり遭ったり、被害にあわれた方もいるだろう。しかし、忘れてはならないのはクマも私たちのまちの同居人であるということ。ここ5、6年で森で見かけるクマ棚の個数がやたらと増えていることに気がついた。

人間社会が常に移り変わるように自然界の様子も常に変化しているものと教えてもらった。森との関わりが全くといっていいほどなくなってきた暮らしが自然界の動きを敏感に感覚的にとらえる機会を奪っているように思える。理屈をこねるだけでなく、現場に毎日出かけてその森の空気や温度、土の感触などで潜在的に人間に備わっている感覚で自然界をとらえることの大切さを痛感している。それは一晩やそこらで培われるものではなく、5、60年以上もの月日がそこに要するであろう。きっと森人たちは、野生動物を撃つことなく、守ることなく、ともに暮らすことを自然と選択するだろう。いや選択する前にそんな意識を後世に伝えているに違いない。

※クマ棚 樹上の木の実などを食べる際、枝をおりまげ自らの尻の下などにまとめて束ねて床をつくる。時折、その場で休んだりもする。クリ、ナラ、クルミなどの木につくられる。

●「ふざけるな!!」

仔犬たちが叫んでいる、そして職員も・・・

2月2日(日)の朝、ふれあいの里。愛犬ジョニーの犬小屋に仔犬が5匹捨てられていました。いったいこんなことをするのは誰なのでしょう？捨てた人を本気で探しにいきました。ここは犬や猫を捨てる施設ではありません。きちんと飼えるか？飼えないか？自分で判断できる方々に生き物は飼ってほしいのです。



クマの爪跡



あんな高い所まで